資料５

第 7 章

防災指針（案）



目次

CONTENTS

第 7 章… 防災指針..... 1

第7章　防災指針

7-1 防災指針の考え方と検討手順

（1）防災指針の考え方

防災指針とは、頻発・激甚化する自然災害に対応するため、都市の防災機能の確保を図るための指針であり、都市再生特別措置法の改正（令和 2 年 9 月施行）により立地適正化計画に位置付けられました。

コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりと災害に強いまちづくりを併せて進めるためには、災害リスクを踏まえた居住誘導区域や都市機能誘導区域の設定が必要となりますが、本市では用途地域のほぼ全域が洪水浸水想定区域に含まれるなど広い範囲に災害ハザード[1]エリアが分布しており、同エリアを全て居住誘導区域から除外すると、実際に人口が集中しているエリアと居住誘導区域が乖離するため、現実的ではありません。そのため、誘導区域の設定において、洪水浸水想定区域のうち計画規模における浸水深 3m 以上を除外するものとしました。

一方で土砂災害警戒区域等の土砂災害に関するハザードについては、予想が困難であり、生命や財産に与える影響が大きいことから全ての区域を除外するものとしました。

このため、居住誘導区域における災害リスクをできる限り回避あるいは低減させるため、ハード・ソフトの両面から具体的な防災・減災対策を本指針に位置づけ、計画的かつ着実に実行することで、コンパクトで安全なまちづくりを推進します。

（2）防災指針の検討手順

防災指針は、次の手順に従って検討します。

①災害リスクの整理(本市を取り巻く状況　災害リスク　参照)
各種災害ハザード情報を整理

▼

②災害リスク分析と課題の整理
各種災害ハザード情報と都市情報を重ね合わせ（災害リスク分析)、災害リスクの高い地域等の防災上の課題を整理

▼

③防災まちづくりの取組方針の検討
防災上の課題を踏まえ、防災まちづくりの基本的な方針及び災害ハザードごとの方針を検討

▼

④具体的な取組の検討
防災まちづくりの取組方針を踏まえ、上位・関連計画（主として国土強靭化地域計画）等との整合・連携を図りながら、ハード・ソフト両面から具体的な防災・減災対策を整理するとともに概略の実施スケジュールを設定

[1]ハザード：（災害などの）危険、危うさ

7-2 災害リスク分析と課題の整理

（1）災害リスクの分析手法

災害リスクの分析は、下図に示すとおりハザード情報と都市情報を重ね合わせ、同図に示す分析の視点をもとに災害リスクの抽出を行いました。

なお、ハザード情報については、出雲市において影響が大きい①洪水浸水想定区域（計画規模（L1））、②洪水浸水想定区域（想定最大規模（L2））、③土砂災害警戒区域等（土砂災害（特別）警戒区域+地すべり防止区域+急傾斜地崩壊危険区域）、④家屋倒壊等氾濫想定区域、⑤浸水継続時間とし、都市の情報については、人口分布、建物、都市機能、避難場所、緊急輸送道路としました。

※地震については市全域に影響が及ぶ広域災害であり、即地的な分析にはなじまないため対象外としましたが、取組の検討に当たっては重要な災害として位置付けています。

≪リスク分析に用いるハザード情報と都市の情報≫

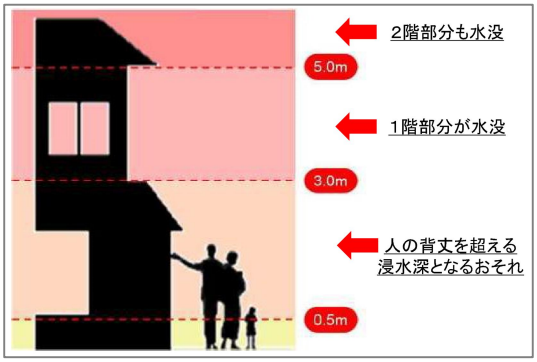
ハザード情報		都市の情報		分析の視点
①洪水浸水想定区域（計画規模（L1）） ②洪水浸水想定区域（想定最大規模（L2）） ③土砂災害警戒区域等 ・土砂災害警戒区域 ・土砂災害特別警戒区域 ・地すべり防止区域 ・急傾斜地崩壊危険区域 ④家屋倒壊等氾濫想定区域 ⑤浸水継続時間	×	人口分布	▶	多くの被災者が発生する可能性のあるエリアはどこか
		建物	▶	多くの建物被害が発生する可能性のあるエリアはどこか
		都市機能	▶	多くの都市機能が被災する可能性のあるエリアはどこか 要配慮者の安全は確保できるか
		避難場所	▶	被災する可能性のある避難所はないか
		緊急輸送道路		被災する可能性のある重要な道路ネットワークがあるか

※④家屋倒壊等氾濫想定区域は、「建物」のみを対象に重ね合わせ分析を行った。
※⑤浸水継続時間は「緊急輸送道路」のみを対象に重ね合わせ分析を行った。

≪洪水浸水想定区域における浸水深の概要≫

浸水深	概要
0.5m	屋外への避難が困難となり孤立する可能性のある水深であり、1 階床高に相当
3.0m	一般的な家屋の 1 階が水没し、2 階床下に到達する水深
5.0m	一般的な家屋の 2 階が水没する水深

出典：「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第 4 版）」（平成 27 年 7 月国土交通省・国土技術政策総合研究所）をもとに一部加筆



出典：立地適正化計画作成の手引き
（国土交通省都市局都市計画課　令和 5 年 3 月改訂）

1）洪水浸水想定区域（計画規模 L1）

1）洪水浸水想定区域（計画規模 L1）×人口分布

3m以上の浸水深に含まれる人口居住メッシュは、出雲地域等の一部地域に限定され、メッシュ人口は、概ね 40～50 人/ha となっています。

《洪水浸水想定区域（計画規模 L1）×人口分布》

